

11102非鉄金属鋳物業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	18 ～ 19	会社から帰宅途中、駅改札を出て、別の路線の改札口に向かっていったところ、走ってきた人と接触し、バランスを崩し転倒した。その際、膝靭帯損傷および膝の半月板に損傷を負った。	53	2	921	10 ～ 29
2	2020	1	11 ～ 12	アルミ鋳造品をフォークリフトで運搬中、停止した際、アルミ鋳造品が傾き、荷台の間に手を挟み、右手親指屈筋を切断した。	57	4	222	10 ～ 29
3	2020	2	11 ～ 12	スクラップ置場から、クレーンを用いて溶解用スクラップ(28t)を移動する際、ドラム缶1本をチェーン式フックで2点吊りした。その際に片方のチェーンが切れ、ドラム缶が振り子状態になり、後ろにあったドラム缶との間に腰部が挟まれて骨盤を折った。	61	6	211	30 ～ 49
4	2020	3	10 ～ 11	ダイカスト工場で、湯口切断機が停止したので、復旧のため治具上にある製品を排出・除去した。別のオペレーターに取り出し口のロボットを上昇させるよう口頭で指示したところ、確認が足りず、機械内に被災者の右手が残った状態でボタンが操作がされた。その際、右手親指が治具に挟まれて骨折し、裂傷を負った。	19	7	169	100 ～ 299
5	2020	3	20 ～ 21	工場中、マシニング装置の清掃中、油圧回路の切替スイッチを誤って動作させ、切替部分に左手中指先端を挟み骨折した。	35	7	159	10 ～ 29
6	2020	3	9 ～	アルミ製品の研磨作業中、砥石が製品の溝に食い込み、サンダーの本体が飛んでしまい指に当たり右第3指に切創を負った。	48	4	153	10 ～

14	2020	9	14 ～ 15	工場内の鑄造ラインで鑄造木型を片付け中、木型を床に置こうとしたとき、取っ手が外れ、木型が落下して縁が足に当たり左足親指を骨折した。	24	4	379	～ 29
15	2020	9	10 ～ 11	作業所内で昇降盤を回転し、木型を削っているときに、左手薬指が刃に接触し、左手薬指第1関節を損傷した。	78	8	131	1～ 9
16	2020	9	5 ～ 6	工場内で、車両アルミホイールの鑄造作業中、パレットからインゴットを手作業で運搬し、台車に載せる作業を繰り返した際、腰椎椎間板症を発症した。	46	19	921	50 ～ 99
17	2020	10	17 ～ 18	ダイカストマシン（650t）の射出付近を清掃のため、鉄板に溜まっているアルミを除去しようとしたが、取れず、鉄板を外そうと持ち上げた。その際、射出のカップリングに鉄板が引っ掛かり、そのまま後ろに持っていかれ、左手指5本を挟まれて、左人差し指と中指を切断、親指と薬指を骨折した。	37	7	169	10 ～ 29
18	2020	10	13 ～ 14	梱包エリア内で作業中、パネル搬送台車の位置に気付かず、台車に当たり転倒して、左足膝に打撲を負った。	46	2	362	100 ～ 299
19	2020	11	12 ～ 13	工場ショット場で、はしごから下りる際、はしごの下にあったパレットの端に足を下ろしたが、踏み外して左足首をひねって捻挫した。	28	19	391	100 ～ 299
20	2020	11	10 ～ 11	工場内で、排ガスダクトを取り外して清掃した後、再度組み立てようとした。脚立上で円形フードの位置を合わせながら、片手でクレーンを操作していたところ、横行スイッチを押したため、フードが移動してきてぶつかった。その際、脚立ごと転倒し、恥骨と尾?骨を折り、左鼠径部に筋損傷を負った。	49	1	211	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\) に戻る。](#)